

令和2年度 学校経営・運営ビジョン

 福島県立小高産業技術高等学校
ODAKA Industrial Technology and Commerce High School

校訓

共生 敬愛 創造

<校長あいさつ> 校長 鈴木 稔
開校4年目となりました。昨年度まで3年間、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールとして人材育成プログラムの開発を行ってきました。その経験を活かし、地域復興を担う人材の育成に引き続き務めて参ります。
また、本校が開発したプログラムを県内外に向けて発信して参ります。

人材育成

夢実現

社会貢献

学力の向上

- ① 基礎学力の定着と授業力の向上
 - ・主体的に学ぶ授業実践や言語活動を通して、思考力や探究心などの新しい時代に求められる学力の向上を図ります。
 - ・生徒一人一人の学習内容の定着度を把握し、わかる授業を実践します。
- ② 専門教育の充実
 - ・高度な知識と技術が習得できるように関係機関と連携を図ります。
 - ・難関資格が取得できるように課外授業等の指導を充実させます。

豊かな人間性の育成

- ① 健やかな体と豊かな心の育成
 - ・部活動等を通して望ましい人間関係の構築や健全育成に努めます。
 - ・地域貢献活動などの体験活動を推進し、礼儀や思いやりの心の育成を図ります。
 - ・生徒自らが生涯にわたり、健康の保持増進ができるよう健康教育を推進します。
- ② 教育相談体制の整備
 - ・関係機関等との連携を密にし、多様化する課題に対応できる教育相談体制の充実に努めます。

進路希望の実現

- ① キャリア教育の推進
 - ・進路ガイダンス、校内企業説明会、大学・企業見学等を通して、進路意識の向上を図ります。
 - ・インターンシップや外部講師講演を実施し、職業観や勤労観の醸成を図ります。
- ② 個に応じた指導の充実
 - ・自己理解の深化や表現力の育成を図り、的確な進路選択・実現ができるように努めます。
 - ・各種調査や面談等を通して、生徒一人ひとりの状況を把握し、適切なアドバイスを行います。

開かれた学校づくり

- ① 保護者との連携・協力
 - ・家庭との連絡を密にして、協力体制を構築します。
 - ② 地域との連携・協力
 - ・地域を学習の場とし、地域社会と一体となった教育活動を実践します。
 - ③ 情報の発信
 - ・ホームページ、PTA会報、生徒会誌、メール配信システム等により学校活動を広報します。
- <https://www.odakasangyogijutsu-h.fcs.ed.jp>